

青函地域における 地域経済活性化に向けた取組みについて

株式会社青森銀行

目次

1. 当行が考える青函地域のビジョン
2. 函館市における営業展開
3. 北洋銀行・北海道銀行(東北10行)との協定締結
4. 「青函活性化ファンド」の設立
5. 青函事業者の交流
6. 青函事業者の合同商談会

1. 当行が考える青函地域のビジョン

1. 青森県と道南地域の歴史的背景

青森県と道南地域の交流は古く、縄文時代から交流があったと言われております。明治4年に青森県が設置された際には檜山地区が青森県に含まれていたことや、青森県から道南へ移住した人が多いことなど、歴史的・文化的なつながりが深く、青函地域は北海道新幹線の開業に伴い大きな経済圏となる可能性が高いと考えております。

2. 当行の函館地区進出への歴史的背景

当行の函館進出は大正4年10月に、旧第五十九銀行函館支店として開業したのが始まりです。開業当時、青森県に日本銀行の支店がなかったことも出店理由の一つでした。

函館支店開業から今年で100年経ちますが、当行で100年以上の歴史をもつ店舗は函館支店を含め20ヶ店(全102ヶ店)のみであり、古くから同地区との結びつきは強かったことが伺えます。

3. 北海道新幹線開業に伴う経済効果

区分	青函圏	道南地域	
		青森県	(渡島地域+檜山地域)
人口(千人)	1,843	1,373	470
面積(km ²)	16,211	9,645	6,566
総生産(百万円)	5,797,678	4,404,529	1,393,149
観光客数(千人)	43,788	32,954	10,834

この青函地域経済を相乗効果で
より活性化させるべく

道南地域の営業強化

2. 函館市における営業展開

1. 函館市の拠点

青森銀行は、函館市内に「函館支店」と「本通支店」の2営業所がございます。

- ・函館支店: 1915年設立。今年度は100周年を迎えております。
- ・本通支店: 1990年設立。今年度は25周年を迎えております。

2. 函館推進チーム

平成28年3月に北海道新幹線開業が予定されており、青函双方における商圈の拡大が期待されます。これを見据え平成27年4月、函館支店内に「函館推進チーム」を新設しました。同チームを中心に、当行が進める『企業の課題解決型営業(ソリューション営業)』を展開し、両地域企業のビジネスをサポートしております。

3. 青函関連商品

① 「あおぎん青函応援ローン」

道南地域企業の成長をより積極的に支援していくため、事業内容や将来性など定性面の評価(事業性評価)を重視した地域限定の融資制度を取り扱っております。

② 「函館支店100周年記念<あおぎん>青函友好定期預金」

函館支店の開設100周年を記念して、平成27年4月1日(水)から金利上乗せ定期預金を発売しました。本商品は、平成27年9月末時点残高(36億円)の0.05%にあたる金額を当行から函館市へ寄付することとしております。

③ 「青函わくわく定期預金」

平成28年3月の新函館北斗駅開業に向け、金利上乗せ定期預金を発売しております。本商品は、北海道新幹線の利用促進につながるよう、お申込者抽選で50名様にびゅう商品券をプレゼントします。

3. 北洋銀行・北海道銀行(東北地銀10行)との協定締結

北洋銀行との協定

青森県、北海道の指定金融機関である青森銀行及び北洋銀行が、産業及び地域振興に資する事業等の実施において、連携・協力を行うことにより、両地域の経済及び地域活性化に寄与することを目的とし、平成24年12月に「地域経済活性化に関する協定」を締結しました。

北海道銀行(東北地銀10行)との協定

東北地区と北海道地区との相互交流を多方面から積極的にサポートするとともに、東北・北海道地区をひとつの経済圏として捉え、地元銀行として連携を強化することで、地域経済の発展に寄与することを目的とし、平成25年3月に「東北・北海道地区の地域交流促進を目的とする連携協定」を締結しました。

上記協定をもとに、北洋銀行とは平成25年4月に、北海道銀行とは平成25年10月に平日時間内ATM利用手数料の無料化を行いました。これにより当行のお客様が北海道に行く場合、一方で北洋銀行、北海道銀行のお客様が青森に行く場合において、ATMを利用する際の利便性が高まりました。

また、本協定をもとに、次ページ以降に掲載される様々な青函連携事業を展開しております。

4. 「青函活性化ファンド」の設立

「青函活性化ファンド」の概要

青函地域のより一層の活性化を図るため、官民連携ファンドである「青函活性化ファンド」を設立しました。地域の活性化や地域の発展に資する企業や事業を対象に、新たなファイナンス手法を提供します。

【概要】

名称	青函活性化投資事業有限責任組合 (青函活性化ファンド)
ファンド総額	2億円
組員構成	【無限責任組員】 株式会社北洋キャピタル REVICキャピタル株式会社 【有限責任組員】 株式会社青森銀行 株式会社北洋銀行
設立日	平成26年5月26日
存続期間	平成33年3月31日まで(最大1年間延長)
業務運営者	株式会社北洋キャピタル REVICキャピタル株式会社

【投資案件】

ファンドの第1号投資先は函館の創業**135**年の株式会社五島軒でした。当社は独自のレトルトカレーで有名ですが、最近では青森県産りんごを利用したロールケーキを開発するなど、青森県産原料を利用した商品開発を積極的に行っております。

函館屈指の老舗企業による青函連携商品であり、地域活性化の象徴的案件として投資額**50**百万円、期間**5**年にて投資しました。

本投資金は、このロールケーキの販路拡大のための冷凍機導入、本店内売店の拡大等の設備投資に充当されております。

5. 青函事業者の交流

1. 事業者交流

平成25年8月、青森市にて北洋銀行と合同で、両行の取引先の経営者を対象とした交流会を開催しました。この交流会は、平成28年3月に予定されている北海道新幹線開業を見据え、両地域の事業者の交流を図る目的で開催したもので、当行側より26人、北洋銀行側より24名の取引先経営者が参加しました。

【概要】

- 1.日時 平成25年8月26日(月) 14:30～
- 2.会場 青森国際ホテル

2. 女性の活躍推進

平成27年8月、函館市にて青森県隣県及び北海道の女性リーダーの活躍推進、交流を目的に『〈あおぎん〉ウーマン・リーダーズ・ネットワーク』会員様(13名)と、『〈北洋銀行〉北洋女性ビジネスセミナー』会員様(17名)との合同交流会を開催しました。日本銀行函館支店長である沼本奈美様を講師に迎え、講演を行いました。また、両行の会員様同士による分科会を開催し、積極的な意見交換が行われました。

【概要】

- 1.日時 平成27年8月24日(月) 14:30～
- 2.会場 函館北洋ビル

6. 青函事業者の合同商談会

1. 北洋銀行との主な連携事業

- ①函館・青森フェア
 - ・平成25年4月～5月(札幌市):青函に関する食材をホテルオークラ札幌へ紹介し、両地域の食材をPRしました。また、開催に合わせ、両行頭取による青函観光PRを実施しました。
- ②ものづくりテクノフェア2015
 - ・平成27年7月(札幌市):北洋銀行主催「ものづくり企業」商談会であり、当行は平成25年から特別協力(今年で3回目)として参画し、青森県のものづくり企業8社が出展しました。
- ③インフォメーションバザール in Tokyo 2015
 - ・平成27年9月(東京都):北洋銀行主催「食」の商談会であり、当行は平成25年から特別協力(今年で3回目)として参画し、青森県の食品関連事業者3社が出展しました。
- ④商品ブラッシュアップ個別相談会
 - ・平成25年11月(函館市)、平成26年6月(札幌市):バイヤー等の「食」に関するアドバイザーにより、青函事業者の商品力向上を図るべく、個別相談会が開催されました。
- ⑤ユニバース・ラルズ主催青函連携商談会
 - ・平成26年10月(函館市)、11月(札幌市):平成25年11月に当行、北洋銀行、新日本スーパーマーケット協会、アークスにより合意した「青函圏の『食と観光』活性化支援の枠組み」に基づき開催された、アークスグループのユニバース・ラルズ主催の青函連携商談会において、出展者募集等の協力を行いました。

2. その他連携事業

- ①北海道銀行及び東北10行連携事業「6次化ビジネスフォーラム」
 - ・平成25年11月(札幌市):6次化をテーマとした基調講演やパネルディスカッション、商談会が実施されました。
- ②青森県庁との連携事業「青森の正直商談会」
 - ・平成27年6月(青森市):青森県内の食品関連事業者が一同に会する商談会であり、昨年に引き続き北海道南事業者からも広く出展を受け入れ、青函交流促進の場として開催しました。